



平成 26 年 12 月 1 日  
内閣府（防災担当）

## 「IRP 国際復興フォーラム 2015 ～世界各地から防災の英知が兵庫に 集結、大規模災害からの復興を語る～」の開催について

被災地の復興過程において、次の災害に備えたより強靱な社会を構築する「よりよい復興」の実現を目指して、我が国や関係国連機関等の連携により国際復興支援プラットフォーム（International Recovery Platform：IRP）が、2005 年の国連世界防災会議の成果の一つとして、同年に発足しました。

IRP では、関係機関の協力の下、復興優良事例などの情報提供、地域復興の助言、能力開発などの活動を行っており、この「IRP 国際復興フォーラム」も、これらの活動の一環として、発足以来毎年開催しているものです。

今回のフォーラムでは、IRP 設立 10 周年及び阪神・淡路大震災 20 年事業として、特別プログラムにより、世界各地の巨大災害からの復興について、アジアなど災害多発国の政府高官等による講演、国連等国際機関によるプレゼンテーションやパネルディスカッションを通じて、災害からの「Build Back Better」を実現する方策について討議を行うとともに、2015 年 3 月に仙台で開催予定の「第 3 回国連防災世界会議」に向けた発信を行います。

- 1 日 時 平成 27 年 1 月 16 日（金）9:30～17:30
- 2 場 所 兵庫県神戸市（ホテルオークラ神戸「平安の間」）
- 3 主 催 日本政府（内閣府）、IRP 事務局、兵庫県、アジア防災センター（ADRC）、  
国連国際防災戦略事務局（UNISDR）
- 4 参加者 各国政府、地方自治体、IRP 構成機関の関係者 等
- 5 会議概要
  - ・ 基調講演：「フィリピン台風災害の復興過程での取組」  
（ロメオ・ファハルド フィリピン国防省市民防衛局副局長）  
「インド洋津波から 10 年～インドにおける復興の取組～」  
（ミヒール R. バット 全インド減災研究所 共同代表）
  - ・ プレゼンテーション：「大規模災害からの教訓と対応」「経済的復興の課題」
  - ・ パネルディスカッション：「国連防災世界会議に向けて～IRP からの発信」
- 6 取材について  
取材は可能です。なお TV カメラの撮影位置などは主催者の IRP 事務局担当者の指示に従ってください。

＜お問い合わせ＞

- 現地での取材及びフォーラム内容に関すること  
IRP（International Recovery Platform・国際復興支援プラットフォーム）事務局  
担当：河内、赤松 TEL:078-262-6041 E-mail: [info@recoveryplatform.org](mailto:info@recoveryplatform.org)
- その他全般に関すること  
内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）付  
井上、長谷川 TEL 03-3502-6983 FAX 03-3581-7510



# IRP国際復興フォーラム2015

～世界各地から防災の英知が兵庫に集結、大規模災害からの復興を語る～

## IRP'S INTERNATIONAL RECOVERY FORUM 2015

20th Commemoration of the Great Hanshin-Awaji Earthquake

*Sending the Message of Building Back Better from Hyogo*

日時：2015年1月16日（金）9:30～17:30

場所：ホテルオークラ神戸「平安の間」



内閣府  
Cabinet Office, Government of Japan



### 開催趣旨

国際復興支援プラットフォーム（IRP：International Recovery Platform）は、大規模災害からの「Build Back Better」を促進するための国際的な協力の枠組として、2005年5月の設立以来、国連機関等と連携しつつ、日本政府、兵庫県の支援のもと、復興支援ツールの開発や人材育成事業の実施、知識の集約と情報発信を行っています。

この活動の一環として、IRPでは、毎年1月、国内外からハイレベル政策決定者や実務家、著名な専門家を兵庫県に招いて、「IRP国際復興フォーラム」を開催、毎回多くの出席者による活発な意見交換を通じて、阪神・淡路大震災の被災地である兵庫県から海外へ大きく発信し続けているところです。

今回のフォーラムは、IRP設立10周年及び阪神・淡路大震災20年事業として、特別プログラムにより、世界各地の巨大災害からの復興について、アジアなど災害多発国の政府高官等による講演、国連等国際機関によるプレゼンテーションやパネルディスカッションを通じて、災害からの「Build Back Better」を実現する方策について討議を行うとともに、2015年3月に仙台で開催予定の「第3回国連防災世界会議」に向けた発信を行います。

### 主催

国際復興支援プラットフォーム（IRP）、  
内閣府、兵庫県、アジア防災センター、  
国連国際防災戦略事務局（UNISDR）

### 後援（予定）

外務省、NHK神戸放送局

### 使用言語

日本語・英語（日英同時通訳有り）

### 申込方法

裏面の申込用紙に必要事項を記入し、事務局あて  
FAX又は郵送にてお送りください。

参加費 無料

## プログラム (予定)

- 9:30～ 9:45 **開会あいさつ**  
 ジョー・ショウヤー IRP 運営委員会議長 (国連開発計画 危機予防・復興局 グローバル・コーディネーター)  
 日本政府代表 (内閣府)
- 9:45～10:15 **兵庫県からのメッセージ** 井戸敏三 兵庫県知事
- 10:15～12:00 **基調講演・特別報告**  
 (1) 「フィリピン台風災害の復興過程での取組」  
 ロメオ・ファハルド フィリピン国防省市民防衛局副局長  
 (2) 「インド洋津波から10年～インドにおける復興の取組～」  
 ミヒール R. バット 全インド減災研究所 共同代表 (同国グジャラート州出身)
- 12:00～13:30 **専門家とのランチ交流会**
- 13:30～15:30 **災害復興に係るテーマ別プレゼンテーション**  
 世界銀行、国連開発計画等によるプレゼンテーション  
 (テーマ)「大規模災害からの教訓と対応」、「経済的復興の課題」
- 15:30～15:40 **コーヒーブレイク**
- 15:40～17:20 **専門家・有識者によるパネルディスカッション**  
 「国連防災世界会議に向けて～IRPからの発信」
- 17:20～17:30 **総括・閉会** 日本政府代表 (内閣府)

### フォーラム会場 ホテルオークラ神戸「平安の間」

〒650-8560 神戸市中央区波止場町 2-1  
 Tel 078-333-0111 Fax 078-333-6673  
 URL [www.kobe.hotelokura.co.jp](http://www.kobe.hotelokura.co.jp)

- ◎JR・阪神「元町」駅東口より南へ徒歩10分  
 又は
- ◎三宮バスターミナル (ミト神戸 1F) 8番より行方行き  
 無料シャトルバス有り (8:30、8:50 発。先着定員制)



## 「IRP 国際復興フォーラム 2015」申込用紙 (FAX 078-262-6046)

所属 (組織名、学校名)	
フリガナ	
お名前	
住所・電話番号	〒  Tel
E-mail	

- ※ご記入後、下記までFAX、郵送によりお申込みいただくか、Eメールにてご連絡ください。
- 入場用IDカードを用意のうえ、当日フォーラム会場でお渡しします。
- ※個人情報、当フォーラム以外には使用しません。



### 国際復興支援プラットフォーム (IRP)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 人と防災未来センター東館 5F

Tel: 078-262-6041 Fax: 078-262-6046 Email: [info@recoveryplatform.org](mailto:info@recoveryplatform.org) URL: <http://www.recoveryplatform.org>